



古城小だより

学校評価アンケート
(後期) 特別号

令和6年2月28日

学校評価アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。 後期の結果をふまえ、今後の指導にいかしていきます。

1月末にお願いしました学校評価アンケート(後期)の保護者分の集計結果は、別紙(「令和5年度 後期学校評価アンケート集計結果」)のとおりです。今回も、前期同様に保護者の皆様から貴重な御意見をいただきました。ありがとうございました。

本校では、前期の学校評価アンケート結果及び自由記述でいただいた様々な御意見をふまえて、特に課題としてあげられた内容を中心に、改善を図る取り組みを後期に実践してきました。

今回の後期アンケート結果についても、保護者の皆様からいただいた御意見を真摯に受け止め、学校職員で共通理解を図り、学校全体として改善すべき点を確認したり、次年度の教育活動計画の検討材料としたりするなど、今後の教育活動にいかしていきたいと考えます。

これからもチーム古城小として、子どもたちのよりよい成長のために職員一同、努力していきますので、よろしくお願いいたします。

【保護者アンケート結果の概要と今後の対応について】

A 教育活動、教職員

①集計結果から

全体として高い評価をいただきました。前期の結果と比べてみると、特に「4. 学校は、道徳の授業や心の教育の充実、いじめ防止に向けた取組をしている」の項目で、高い評価をいただきました。

心の教育については、前期の自由記述で「担任の先生だけでなく、専門家の力も借りながら、子どもも保護者も含め、みんなで考えていきたい。」という意見があったことをふまえ、7月以降は全職員で、特に留意して指導してきました。

また、学校の教育活動の基本である、「3. 学校は、分かりやすい授業の実践に努めている」の項目で前期に引き続き、高い評価をいただいたことは、大変うれしく感じています。若手教員の多い本校では、通常の校内研修に加え、若手研修やOJT研修(ベテランから若手への伝達)などを実施し、全教員の授業力向上に力を入れて取り組んでいるからです。今後も、本校教員の授業力を向上させ、充実した教育実践になるよう努めていきます。

②自由記述から

自由記述欄に、教育活動及び教職員に関わる内容として、次のような記述がありました。

- 昼休みに子どもたちと校庭で遊んでくれている先生方がいて、ありがたいし、いじめ防止にもつながると思う。
- 先生方のおかげで毎日楽しく学校に行けている。特に、担任の先生の分かりやすい授業や子ども一人一人に向き合ってくれている姿勢には親として感謝している。
- 児童が少ない中、いろいろな工夫をしていただき、感謝している。親子共々に、学校の誠意が伝わっている。
- 担任の先生やクラスの子どもが特性をからかうことなく接してくれていて嬉しい。学校全体がそのような雰囲気になりつつあり、管理職の先生のおかげだと思う。
- 授業参観では、とても分かりやすい授業で、子どもたちに活気があり、日頃の先生方

の配慮を感じた。

○いつも熱心な指導と子どもに合った配慮をしてくださり、感謝している。

○学校行事等の連絡や保健だよりによる指導、情報など、学校は誠実に対応していただいていると感じる。

▲学校のホームページの更新がなかなかされず残念である。また、前年度のニュースが削除されていて残念だった。

自由記述でも、大変ありがたく、そして教職員にとって励みとなる御意見をいただきました。今後とも、学年の発達段階や児童個々の実態などを十分に配慮した指導を心掛け、対応してまいります。

ホームページの更新については、ご指摘のとおり、学校行事や学年行事の様子を掲載することが遅れてしまったことがありました。各種行事や保護者の方々にお伝えする事案がある場合には、できる限り速やかに更新できよう努めていきたいと思っております。

B 環境

①集計結果から

前期は、「9. 学校は、交通安全や学校事故等の安全への配慮がされ、環境が整っている」の項目が肯定的評価84.8%でしたが、後期は93.3%と高い評価をいただくことができました。

前期の安全環境に関わる自由記述に、「通学路は、危険な場所があるので、しっかり確認してほしい。何年も危険箇所を記載しているが、改善がない。」といった意見が多かったことをふまえ、8月初旬に市の関係者と合同で通学路を点検及び検討するなど、学校として通学路の安全整備を市に働きかけてきました。今年度、通学路で具体的に改善が図られた箇所については、先日のお便りを御確認ください。

また、9月初旬に旭市内で土砂災害警報が発令されたことをふまえ、急遽、11月に学校で土砂災害が発生した場合を想定した、引き渡し訓練を実施しました。その他、交通指導においては、毎月の前半と20日に交通安全指導日に、保護者の皆様にも朝の交通指導に御協力いただいていること、大変感謝しています。

児童の命を守るための安全環境の整備及び安全指導は、学校教育において重要ですので、今後も施設面の安全管理、また安全指導を徹底するとともに、必要に応じて迅速に対応していきたいと思っております。

②自由記述から

教育環境（交通安全、学習環境など）に関わる内容として、次の自由記述がありました。

○校庭での整備や草取りをやってくださる先生方がおり、子どもたちが使う校庭がきれいにしていただけるのは嬉しい。

○校長先生が、毎朝、校門に立って交通指導してくださり、ありがたい。

本校の環境整備を行う中で、大変な労力を要する業務の一つが校庭のグラウンド整備です。本校のグラウンドは、他校に比べて、根強い雑草が広範囲に生えやすく、管理がとて大変です。さらに、運動時の児童の安全を考慮し、陸上練習や運動会の前には、直線トラックの走路を耕運機で耕すなどして整備しています。主に3月から11月までの期間、体育主任や体育副主任を中心に職員で協力して、グラウンドの整備にあたっていますが、今回、保護者の方からあたたかい声をいただいたことを本当にありがたく感じております。

今後も教育環境の整備に努めていきますが、次年度は、親子奉仕活動として除草作業などを検討していますので、御協力をお願いします。

C 家庭との連携

①集計結果から

前期アンケート結果では、自由記述で「大切な連絡は、子どもまかせにせず、連絡帳に記載をお願いしたい。」といった意見があるなど、学校として家庭への連絡について課題があったため、7月末に全職員で、保護者への丁寧な連絡の重要性を再確認し、取り組んできました。具体的には、必要事項の早期連絡、また連絡帳等で保護者から問い合わせがあった場合には、速やかに管理職に報告・相談し、迅速かつ丁寧に対応することなどに努めてきました。

今回の後期アンケート結果では、「12. 学校は、保護者からの連絡や相談に丁寧・誠実に対応している」の項目が、前期91.3%から後期98.1%に、「14. 学校は、児童の学校での様子（教育活動等）や諸連絡を家庭に伝えている」の項目では、前期90.9%から後期96.1%と、よい評価をいただきことができました。

今後も、学校が保護者の方々と信頼関係を築くため、児童の様子や今後の予定などをしっかり伝えていくなど、丁寧な対応を心掛けていきたいと思えます。

②自由記述から

自由記述欄に、家庭との連携に関わる内容として、次のような記述がありました。

- 連絡帳で、いろいろ報告してくださるので、とても助かっており、感謝している。
- 連絡帳のお返事はすぐに丁寧に返してくれて助かりました。
- 担任の先生は、困ったことがあると相談でき、よく話を聞いてくれるように思う。
- 子どものトラブルの相談もきちんと対応していただき、ありがたかった。
- どんなささいな相談でも、親身になって対応していただき、毎回頭が下がる。

自由記述でも、本校職員にとって大変ありがたい御意見をいただきました。前期の反省を学校として多少、改善できたものと考えます。保護者への丁寧な連絡と相談については、今後も全職員で徹底すると同時に、次年度へもしっかり引き継いでいきたいと思えます。

D 子供

①集計結果から

前期同様、全体として高い評価をいただきましたが、「17. 子供は、発達段階に応じた家庭学習（宿題・自主学習・読書など）をしている」の項目で前期に比べ、よい評価をいただきました。この結果は、保護者の方々の協力があっての成果だと考えます。

②自由記述から

自由記述欄に、児童に関わる内容として、次のような記述がありました。

- 子どもは、楽しく学校ですごせているようで、ありがたい。
- 子どもは、先生や友達と過ごす学校生活が楽しくて大好きとのこと。
- 子どもから学校が楽しいとあり、これまで学校でネガティブな話を聞いたことが一度もない。学校が楽しいと思う環境にあることに大変感謝している。
- 子どもは、毎日学校を楽しみに登校している。

自由記述においても、全体として肯定的な声をいただきました。一方で、児童アンケートでは「これまでの生活を振り返って、楽しかった」の項目で、肯定的評価が後期95.2%、そして否定的評価の児童が数名いました。「あまり楽しくなかった」と回答をした児童に寄り添い、聞き取りや相談、支援を丁寧に行うことが、学校として重要であると考えます。

今後も全ての児童が、「学校は楽しい」と感じられるように、日頃の様子から児童個々を見取り、状況を把握しながら適切に指導していきます。

E 家庭地域

①集計結果から

前期同様に後期においても「19. 規則正しい生活の実践に気を付けている」及び「20. 授業参観やPTA活動、奉仕作業等に積極的に参加している」で高い数値でした。この結果は、保護者の方々が、日頃から学校の教育活動やPTA活動に協力的で、家庭でも子どもの成長ため配慮していただいていることの証だと思います。大変ありがたく感じております。

「18. 地域（近所の方・保護者以外の方）は、学校の教育活動に協力している」の項目では、前期同様に肯定的評価が8割強という結果でしたが、本校では、1年間を通じて古城地区社会福祉協議会の皆様、JAちばみどり青年部の皆様に、生活科や社会科などの様々な学習活動で支援していただいております。また、今年度は地域コーディネーターの御協力もいただきながら、6年生の総合学習で、ミニトマト農家の石毛泰洋さんと伊藤慎吾さん、インドネシア出身の技能実習生エコさんに話を伺う機会もありました。少しずつ地域の方々との交流の幅を広げています。

今後も、地域の方々の支援を積極的に活用していきたいと思っております。

その他

自由記述から

- マラソン大会や縄跳び大会で、高学年の女子の体格を考慮して、半袖半ズボンの体操服着用ではなく、もう少し配慮があつてよいと思う。
- 個人面談は、夏休み前にも一度やっていただき、年2回に増やしてほしい。夏休み前の面談で、学校の様子や必要な事柄を教えてください。また、長期休みは、勉強面の苦手なところを克服できる期間と思うので、面談で教えてください。対応、結果の流れを話したい。
- コロナ前のような親子で楽しめたり、子どもたちの行事が縮小されつつあるままなので、以前のような行事が戻ってくるといいと思う。
- 校庭については、放課後や休日に開放して子どもたちが遊ぶことはできないでしょうか。子どもたちの遊び場があればよいなと思っている。

マラソン大会などの児童の服装については、実施の時期や運動の特性を考慮し、適した服装を学校として判断しています。今年度のマラソン大会についても、原則、半袖半ズボンとしましたが、個別に配慮が必要な場合には児童や保護者の要望を確認した上で対応してきました。今後も体育的活動については、その都度、学校としての適した服装を示しますが、個々の事情等を十分に配慮した上で対応していきたいと考えます。

個人面談については、御指摘いただいたとおり、年度の早めの時期に、担任から保護者の方々に、児童個々の学校生活の状況を説明することはとても重要と考えます。来年度は、7月末頃に1回目を実施し、担任から1学期の学習状況を説明と保護者の方々に理解していただく機会とし、そして、今年度同様、12月中に2回目の面談を実施する方向です。

また、親子活動などの各種学校行事についても、現在、来年度について検討を進めているところですが、各行事の教育的な意義等を改めて見直し、検討していきたいと思っております。

放課後や週休日の校庭使用については、昨年度、休日の使用時に遊具破損トラブルがあったことや、近年、国内において校庭での不審者侵入事故が発生していることなどから、児童の安全と防犯及び施設管理などを考慮し、週休日に関係職員以外は原則、学校敷地内に入ることを禁止しています。本校の立地条件（校庭の周辺に家や店などがほとんどなく、校庭が死角となりやすいなど）をふまえて、旭市教育委員会と協議し、指導を受けて判断しました。

現在、保護者同伴でも週休日は使用不可となっておりますが、「子どもたちが運動できる場の確保」と観点から、社会体育の体育館利用と同様に、保護者の事前申請と同伴によって、校庭及び遊具の使用の可否を市教育委員会と協議していく予定です。

